

全仏

NO. 239

6 / 53



仏跡シリーズ ⑩ <ガヤの町>

ブダガヤに一番近い都市ガヤは、ブダガヤよりも古い町です。日本では見られない50年も昔のクラシックカーが走っています。インドは、現代・中世・古代がずっと一諸に歩いているようです。

(カメラ・松本 栄一)

財団法人 全日本仏教会

WFB日本大会

大会日程と地方大会の概要

第十二回世界仏教徒会議(WFB)日

本大会にむけて、WFB事務局はもろろん実行委員会各委員会も準備に余念がなく、大会日程とそってそれぞれの部門で検討を重ねている。大会日程の概要は次のとおり。

【九月二十九日】代表団来日。この日は登録のあと、大会本部会議が行なわれる。宿泊は東京グランドホテル、芝パー

クホテルの予定。

【九月三十日】WFB執行委員会、WFB総会が開かれる。

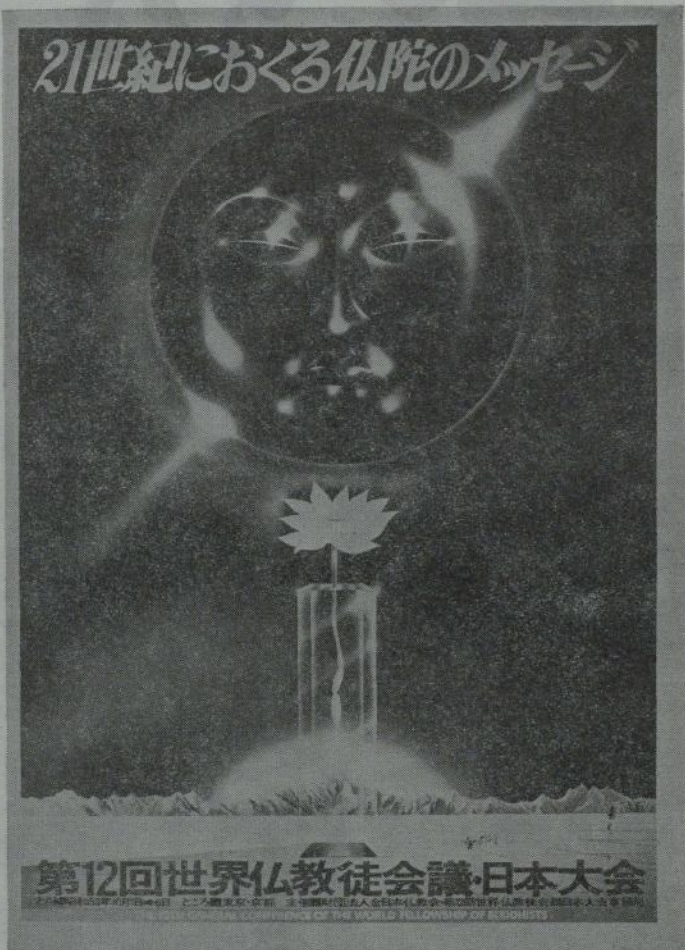
【十月一日】いよいよ開幕。築地本願寺において開会式(第一回全体会議)が行なわれる。午後は会場を増上寺に移し基調講演と各分科会が開かれ、同時にWFBY(青年部会)の開会式等も開かれる。夕方は東京都仏主権のレセプション

がホテルオークラで行なわれる。

【十月二日】午前中は分科会と青年部会、午後はパネルディスカッションと青年部会の記念講演等が行なわれる。なお全日仏婦の昼食会が予定されている。

【十月三日】東京グランドホテルにおいて財政、出版、人道など六つの常設委員会が開かれ、夕方は国立劇場において歓迎大会を開催する。なお一般を対象に記念講演会を読売ホールで行う予定。

【十月四日】読売ランドで法要とレセプションの予定。そのあとは自由時間となる。なお午前中に起草委員会が開かれ



ポスターできる

る。

【十月五日】午前中に第二回全体会議と東京における開会式典を増上寺にて開く。午後に新幹線にて京都へ向う。宿泊は京都ホテルの予定。

【十月六日】京都各山を参拝したあと夕方より京都国際会議場において、開会式とサヨナラパーティーを行う。

【十月七日】地方大会へ移行する。

妙心寺など地方大会

開催地順次きまる

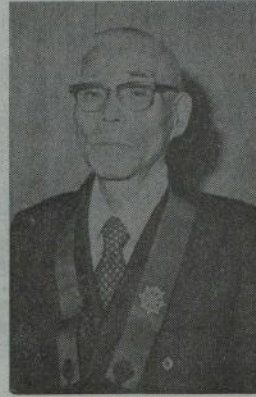
第十二回WFB日本大会は、十月六日の京都における開会式、サヨナラパーティーのあと、七日より各地において地方大会がもたれる。式典部において担当しており、内定し概要を接渉中のところもあるが順次決定をみている。

予定される地方大会は、七日の妙心寺大会(妙心寺花園会館)で幕をあけ、このあと鳴門市仏を西国各県仏がバックアップしての鳴門大会、京都では高野山大会と比叡山大会、つづいて長岡市仏の長岡大会、埼玉県仏の埼玉大会(喜多院)栃木県仏の栃木大会(日光輪王寺)や静岡・鳴江寺の鳴江寺大会が予定される。

おわび

全仏誌五月号、WFB寄附者御芳名中「百万円 田無 道場寺 大村 仁道」とありましたが誤記につき取消させていただきます

実行委員長に桜井師



懸案であった第十二回世界仏教徒会議日本大会の実行委員長について、四月二十四日の実行副委員長会議において、桜井大乗師を選出、桜井師も了承し決定をみた。

実行委員長に就任した桜井大乗師は現在、東京都仏教連合会理事長、全仏常務理事。また全仏の前事務総長。

新委員に四氏を委嘱

―接待委員会―

接待委員会（板橋委員長）は、四月二十四日午後二時より全仏会議室で開催され、次のような案件が話し合われた。

一、新委員として村松賢英、徴守一、植原芳子、林恵智子の四氏を委嘱した。
一、樹谷副委員長が接待部長に就任のため、村松賢英氏を選出した。

一、大会日程にあわせ接待部の受持を確認し煮つめた。

一、檀信徒不在の大会とならぬよう、その対策を総務委員会等へ申し入れる。

一、各委員会に対し接待に関係する部分の申し入れをする。出国困難なセンタ―に対する考慮、代表団人数の把握、国内来賓のリストなど。

一、地方大会についての接待委員のかかり方、会議・式典委員会との合同委

現況報告中心に討議

―渉外委員会―

渉外委員会（摩尼委員長）は、五月九日午後二時より、全仏会議室で開催され現況報告を主に討議された。

①大会出席者申込状況―五月六日現在の出席予定者は、四十四センタ―より公式代表・オブザーバー百八十九名、また非公式オブザーバー百八十七名となっている。

②地方大会―地方大会については式典部でとりまとめているので、その結果に基づいて交渉している。

③出国困難なセンタ――インド各センタ―、ネパール、スリランカ、バングラディシュ、ビルマ、ラオス、ベトナム、

カンボジャ、シッキム。

④国内参加者―接待部、式典部、会議部等と接衝中。

⑤大会期間中の渉外―各国センタ―や大使館等の渉外について、事務局で担当委員を選出する。

⑥その他―国際会議担当業者―ISSより渉外部の役割等を説明。

青年大会など審議

―総務委員会―

総務委員会（白川委員長）は、五月十二日午後一時より全仏会議室で開催され、次の議題について審議された。

一、WFB実行委員長の件

加藤総務局長より経緯を説明し、桜井大乗師が選出された旨を報告し了承。

一、WFBY大会の件

鎌田企画部長、杉谷委員（WFBY実行委員長）より経過説明。大会行事として開催されるが、実際の準備はWFBYの実行委員が全仏と連絡をもちつつ行なっていくこと了承。

一、一般参加者のプログラムの件

檀信徒等が参加できるよう十月三日に読売ホールにて「記念講演会」を行うこと了承。

一、その他

報道関係の後援について、動静状況について、大会当日の人事について等を協議した。なお今回の総務委員会において、副委員長選出の件などの案件について審議する。

WFB事務局の動き

第十二回WFB日本大会まで、あと百二十二日（六月一日）となり、WFB事務局の準備も急ピッチ。タイブライターにかじりつく者、頭をかかえこむ者、イライラする者、出張中の者と事務局の中は騒乱罪が適用されそうである。

☆東奔西走の中村部長（式典）は先月も北海道から福岡までの大忙し。北海道では乗ったタクシーが覆面パトカーに御用になるおまけつき。「別に俺が急がせたわけじゃないんだよ」とのこと。

☆東京では某部長が忙がしすぎて、ついウツカリ信号無視で減点。「いやや考えこんでいたもんで」

☆手際よく事務処理をする般若主事も細身の身体にムチうって頑張っているが、電話で「ハンニャです」といっても一度で通じたことがなく、その方が大変だそう。覚えてあげて下さい。

☆勸募で出張の多い市橋部長に悩みが一つ。「娘がそのたびにおみやげを催促するんだよ」

☆一島部長（渉外）の自坊に寄住するジョンさんが助っ人として数回来局し英文書類を整理してくれたが、昼食はニラソバや日本そば。「タイヘン、トデモオイシーデス。ゴチソウサマ」

☆当の一島部長も大ハッスル。スリランカのことでも外務省を訪ねたとき、カサ立を倒してしまいか大音響。この首にヒックリした西南アジア課の面々の中に友人の課長がいて話はスムーズだった。

全仏 常務理事会開かる

全日本仏教会の常務理事会は、五月二十九日午前十一時より東京本願寺御忌記念館で開催され、次の議案について審議された。(詳細次号)

一号議案「人事について」

理事長、常務理事等の人事について慎重に審議された。
二号議案「加盟申請について」
世界平和同願会よりの加盟申請について審議された。

つづいて理事会も開催

52年度決算などを承認

全仏常務理事会にひきつづき、午後一時より東京本願寺大谷ホールにおいて次の議案について慎重に審議された。

一号議案「人事について」
二号議案「昭和五十二年事業報告に

三号議案「昭和五十二年歳入歳出決算について」
四号議案「WFB大会について」
事業報告、決算等が承認された。

52年度 全日本仏教会の事業報告

- 1、加盟仏教団体相互の連絡・提携および親睦
- 4・8 日本仏教顕仰会花まつり出席
- 16 信貴山真言宗管長就任祝電
- 18 常務理事会
- 23 静岡県仏教会戦災慰霊法要打電
- 5・9 監査会
- 24 理事会
- 7・4 東京都仏理学会出席
- 12 日本仏教顕仰会お盆まつり出席
- 12 岐阜県仏教会お経を習う会十周年大会協賛
- 9・9 善光寺晋山式出席
- 9 念法真教灯主誕生会祝電
- 13 長野県仏教徒会議出席
- 24 三重県仏教会戦災慰霊法要打電
- 10・1 常務理事会
- 15 曹洞宗総持寺退董式出席
- 17 妙心寺派訪米団結団式出席
- 18 御聖派仁和寺晋山式出席
- 11・1 智山派川崎大師開創八五〇年記念祭出席
- 4 東本願寺被災見舞
- 16 真言宗大鳴派加盟承認伝達

- 18 全日仏婦大会出席
- 23 孝道教団副統理一周忌出席
- 12・5 理事会
- 8 東京都仏五〇周年記念式典出席
- 14 東京ブディストクラブ成道会出席
- 1・11 埼玉県仏新年会出席
- 21 全日仏婦修正会出席
- 25 評議員会
- 25 理事会
- 25 新年懇親会(東京)
- 2・7 〃(京都)
- 2、仏教教化運動の総合的企画および促進
- 毎月一回「全仏」誌発行
- 「花まつりポスター」等の普及
- 6・29 仏教文化会議運営委員会
- 8・25 第十回日本仏教文化会議
- 3・7 文化専門委員会
- 3、諸官庁および関係諸団体との連絡
- 毎月一回日本宗教連盟理事会幹事会出席
- 随時WCRP幹事会出席
- 5・18 全青協設立十五周年記念式出席
- 9・1 都慰霊堂秋季慰霊法要出席供花
- 10・28 神社本庁被災見舞
- 15 立正佼成会庭野氏誕生祝賀出席
- 15 宗教団体連合会との懇談会
- 2・14 文化庁打合せ
- 3・6 文化庁包括宗教法人等管理者研究協議会
- 10 都慰霊堂春季慰霊法要出席供花
- 4、各種仏教運動の実践および育成
- 4・22 国際専門委員会
- 6・16 埼玉大会実行委員会
- 20 関東申信越静ブロック会議(長野)
- 9・16 埼玉大会幹事会
- 10・6 都道府県代表者会議
- 6 全日仏青埼玉結果
- 7 第二十五回全日本仏教徒会議埼玉大会
- 25 四国ブロック会議
- 11・14 国際専門委員会
- 21 近畿ブロック会議
- 5、各国のWFBセンターおよび各国仏教団体との連絡
- 5・23 WFB執行委員会(東京)
- 2・16 〃(バンコク)
- 16 バンクラディッシュ孤児救済金贈呈(バンコク)
- 17 WFBブーン会長誕生会出席
- 6、世界仏教徒会議への参加および文化交流の促進
- WFB日本大会開催準備
- 実行委員会たびたび開催
- 7、仏教および仏教徒による国際親善および文化交流の促進
- 5・28 スリランカ仏蘭寺管長一行来日歓迎(6・4まで)
- 6・17 香港仏教会一行来日歓迎
- 7・26 釈天恩師来日歓迎
- 9・4 中国仏教会一行来日歓迎
- 9・8 全仏訪欧派遣(17日まで)
- 11・7 宗教間平和会議出席(11日までリスボン)
- 12・8 フダガヤ結果協賛
- 1・22 ベトナム梵鐘返還法会協賛

昭和52年度財団法人全日本仏教会歳入歳出決算書

歳入	予算額	金45,597,000円
	決算額	金45,189,196円
歳出	予算額	金45,597,000円
	決算額	金41,105,703円

監査の結果証拠も完備し収支が適正に行われていたことを認めます。

昭和53年5月9日 監事 船口暉子 印
監事 植松 威 印
監事 岩脇宏信 印

歳入の部

項 目			予算額	収入済額	対 子 算	
款	項	目			収入超過額	収入未済額
1. 負担金			40,193,000	38,339,000		1,854,000
	1. 各宗派負担金		35,967,000	34,959,000		1,008,000
	2. 各団体負担金		4,226,000	3,380,000		846,000
2. 寄付金			200,000	0		200,000
3. 未納徴収金			300,000	1,132,000	832,000	
4. 基金果実			990,000	951,900		38,100
5. 雑収入			800,000	813,265	13,265	
6. 繰越金			3,114,000	3,953,031	839,031	
歳 入 計			45,597,000	45,189,196		407,804

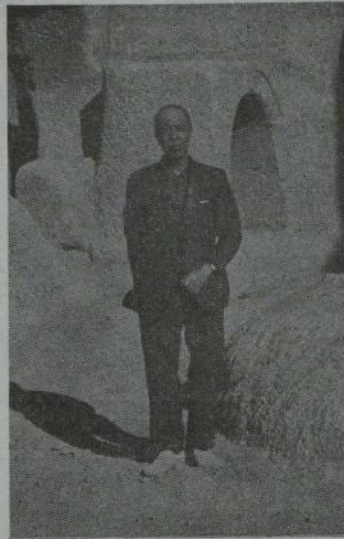
歳出の部

科 目			予算額	支出済額	○増 △減 流 用 額	予算不用額	付 記
款	項	目					
1. 事務総局費	1. 人件費		30,480,000	29,470,424	0	1,009,576	
			19,400,000	19,293,087	0	106,913	
		1. 職員俸給	7,800,000	7,693,634	0	106,366	
		2. 諸給	9,700,000	9,673,212	△ 26,241	547	三目へ流用
		3. 厚生費	1,100,000	1,126,241	○ 26,241	0	二目より流用
		4. 退職積立金	800,000	800,000	0	0	
	2. 事務費		4,380,000	4,075,891		304,109	
		1. 借館借室費	1,680,000	1,560,000	0	120,000	
		2. 通信費	1,200,000	1,077,725	0	122,275	
		3. 消耗品	200,000	197,552	0	2,448	
		4. 光熱費	350,000	312,634	0	37,366	
		5. 備品費	300,000	300,000	0	0	
		6. 印刷費	400,000	398,801	0	1,199	
		7. 諸雑費	250,000	229,179	0	20,821	
	3. 旅費		2,000,000	1,667,362	0	332,638	
	4. 関西事務局費		1,700,000	1,700,000	0	0	
	5. 渉外費		3,000,000	2,734,084	0	265,916	
2. 総務局費			3,650,000	2,672,574	0	977,426	
	1. 会議費		1,450,000	885,290	0	564,710	
		1. 理事会費	400,000	203,701	0	196,299	
		2. 評議員会費	150,000	133,100	0	16,900	
		3. 各種委員会費	300,000	80,810	0	219,190	
		4. 諸会議費	600,000	467,679	0	132,321	
	2. 共通事項処理費		1,800,000	1,573,232	0	226,768	
	3. 調査研究費		400,000	214,052	0	185,948	
3. 組織局費			4,400,000	3,823,870	0	576,130	
	1. 組織強化費		3,900,000	3,635,670	0	264,330	
		1. 組織強化費	1,000,000	1,020,635	○ 20,635	0	二目より流用
		2. 国内仏教徒会議費	2,900,000	2,615,035	△ 20,635	264,330	二目へ流用
	2. 時局対策費		500,000	188,200	0	311,800	
4. 国際文化局費			6,050,000	5,090,788	0	959,212	
	1. 国際運動費		950,000	615,855	0	334,145	
		1. WFB関係費	100,000	15,300	0	84,700	
		2. 国際仏教交流費	450,000	218,260	0	231,740	
		3. 渉外費	400,000	382,295	0	17,705	
	2. 文化会議費		1,500,000	1,384,794	0	115,206	
		1. 文化会議費	900,000	784,794	0	115,206	
		2. 紀要作成費	600,000	600,000	0	0	
	3. 教化費		100,000	42,900	0	57,100	
		1. 教化諸費	100,000	42,900	0	57,100	
	4. 機関紙発行費		3,500,000	3,047,239	0	452,761	
5. 雑費			100,000	48,047	0	51,953	
6. 子備費			917,000	0	0	917,000	
歳 出 計			45,597,000	41,105,703		4,491,297	

昭和53年 6月1日

玄奘三蔵の足跡を訪ねて

埼玉県佛教会 河野 亮 永



筆者の前で大石パーミヤン

に直行した。翌朝アフガニスタン航空でカーブルへ飛ぶ予定のところ、飛行機の都合で一日ニューデリー見学で遅した。翌日、予定より三時間も遅れて飛び立ったが、いかにもインド的である。うだる暑さのニューデリーから、一時間半でカーブルへ着いた。飛行機を降りるや否や今度は肌をさす寒風にあたるえ上り、真夏から真冬へ突入したようである。カーブル飛行場の待合室にパーミヤンの大石仏の大幅真がかかけられていたことを思うと、大仏はアフガン観光の目玉商品にされているらしい。

見学コースの概要

カーブル博物館のギリシャ系の仏像、ヒンズークシ山中のシバル峠を越え、パーミヤンで大磨崖仏参拝。ジンギスカン時代の望楼を見ながらブリモホリへ。サマンガンで仏塔（タフティルスタム）スルフユタルでカニシカ神殿（拝火教）吹雪のサラン峠を越え、再びカーブルへ。翌日、釈尊の頂骨を納めたスツーパーのあ

ったハツダの遺跡、ストッコ（石宮）作りの仏像参拝。

これでアフガニスタンの見学は終るが何といっても、パーミヤンの大石仏と、石窟僧院跡が感激である。ヒンズークシの木一本ない、高嶺の谷川沿いのジャリ道を、ベンツのミニバスで走る毎日、目に入るものは褐色の山肌と、ジャリと黄色い砂土のみ、山と泥を見てきたといっても過言ではない。

有名なカイバル峠を越えて、パキスタンへ入る峠の頂上で車を止め眺望する。BC十五世紀に作られた中段の道路を玄奘三蔵が歩いたという。上段の道が十六世紀ムガル王朝時代、下段が英国時代に作られた現在の自動車道路である。この峠を越えると平地と緑と水が見え、ほっと救われた気分になる。

パキスタンに入って、ガンダーラ山岳仏教寺院最大の遺跡といわれる、タクトイバイ寺院跡、シャーバズガリのアショカ王詔勅石碑、ベジャワール博物館、ラワルピンディ博物館、タキシラの仏像、僧院遺跡などを見学した。

かくして、ギリシャとインド文化の交流地、文明の十字路で、仏像と共に大乘仏教発生の故郷を興味深く見学したが、千三百年の昔、玄奘三蔵が、あの高山と砂漠、雪と炎熱の道を数ヶ月を費して入竺し、十七年の勉強の後、万巻の経典を将来し、翻訳したのである。

その経典を今吾々が誦誦していると想うと、超人的な三蔵法師の求法の精神と偉業に感謝すると共に、お経の有難さが

身にしみて感じられる。

台湾玄奘寺参拝

パキスタンのラホール空港からニューデリーに飛び、休む暇もなく香港経由で台北へ着き、直ちに汽車で台中に至り宿泊した。翌日、日月潭湖畔の玄奘寺を参拝し、住職より昼食の馳走にあずかり、浄心法師と懇談した。この寺には、創建時の功労者、智山派元管長、倉持大僧正（元埼玉県仏会長）の分骨と遺影が奉安されている。日月潭という、風光明媚な行楽地のため、参詣客も多く、極彩色の立派なお寺である。

翌日台北にもどり、市内繁華街のビル十二階の、床面積二百坪を有する、仏光山別院を参拝し、院主慈航法師と懇談した。玄奘寺浄心法師も慈航法師も戦前の日本時代の教育を受け、京都仏専に学び日本語は自由である。日本大会での再会を約して別れを告げた。

今回の玄奘三蔵の足跡をたずねる旅は多くの事を学び、考えさせられ、全仏大会のしめくくりの行事として有意義な旅であった。



第11回

日本仏教文化会議

今月二十日、東京ホテルで

全日本仏教会と国際仏教交流センター（孝道教団）の共催による「日本仏教文化会議」は今年第十一回目をむかえる。この文化会議は、昭和三十七年の「仏教東漸七十年記念」に設立され、特に昭和四十三年からの「アジア開発と仏教」以来、「生命科学と仏教」、「人類の未来と仏教」をそれぞれ三年づつ、箱根シンポジウムとして開催され、昨年はこれらの成果をふまえて、また世界仏教徒会議日本大会へ提言ということで開かれた。今年は、十月開催の世界仏教徒会議を契りある内容とするため、その事前研究

会として開催する。従って世界仏教徒会議日本大会実行委員会の会議部をも加えて、大会の会議メインテーマである「仏教徒が思考する未来社会像」をとりあげて、東北大・玉城康四郎教授の基調講演のもとに建設的な討議をいただき、大会への貴重な資料とするものである。第十一回日本仏教文化会議要項
日時 六月二十日（火）十時開会
会場 東京グランドホテル
テーマ 仏教徒が思考する未来社会像（研究事項）①近代諸思潮と仏教的思考 ②アジアの現状と仏

教徒の使命 ③二十一世紀の僧伽形成
後援 読売新聞社

来日のネパール国王のレセプション

ネパール国王が来日し、国王招待のレセプションが、五月十六日ホテルニューオオタニで催された。

当日は関係者多数が招かれ盛会で、仏教関係から中山理々師、頼松祥倫師、今井行順師や、奈良康明先生、中村端隆先生等が出席、全日仏からも石川国際部主事が出席した。

関西事務局人事

全日本仏教会関西事務局は慣例により浄土宗より、浄土真宗本願寺派に引き継がれました。したがって事務局の事務担

歌山、大谷女子大（大谷）、四天王寺女子大（和宗）、相愛女子大（本願寺派）等が大阪にある。

また愛知にも、愛知学院大（曹洞）、同朋大（大谷）、日本福祉大（日蓮）があり、東北に東北福祉大（曹洞）があつて、それぞれ仏教精神を基盤として、情操豊かな育成をめざしており、またスポーツでも名をあげてきている。

関西では大谷大（大谷）、京都女子大（本願寺派）、光華女子大（大谷）、種智院大（真言）、花園大（妙心寺）、仏教大（浄土）、竜谷大（本願寺派）などが京都に、高野山大（高野真言）が和

全仏ロビー

仏教系大学

新しい希望に胸をくらし、新入生も学園生活に慣れて勉学にいそしんでいる。

仏教系大学も最近では総合大学として学生の数もマンモス化してきているが、レベルもアップされて入学が難

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9（地下鉄田原町駅前）

電話 代表 (841) 4965

【関西事務局】京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派情報部

事務総長 藤沢実晟 本願寺派
組織部長 千坂精道 妙心寺派
国際部長 小沢照禎 智山派
文化部長 小林忍戒 京都府仏
教化部長 堀原隆也 浄土宗
審議部長 能郷英士 真宗大谷派
総務部長 小泉宗和 本願寺派
主事 越岡龍瑞 真宗大谷派
山添法道 浄土宗
徴守一 本願寺派
森川哲乗

当は本願寺派情報部ですることとなりま
した。また人事も次のように変更されま
す。

昭和53年6月1日

◆掲◇示◇板◇

埼玉県仏人事

▼埼玉県仏教会の理事会が五月一日、浦和の埼玉会館で開かれ、互選で正副会長などを決めた。

新会長には岩崎鳳来師、副会長に山本道隆、江連俊則の両師、専務理事には河野亮永師、常務理事に酒井文雄、安原宣幹、片山秀亮、浜野龍生の各師が選出され就任した。また事務局長には北之内真龍師が再任された。

おわつて新旧理事の交歓会があり、大島見道前会長に全日本仏教会・大谷光真会長名の感謝状ならびに記念品がおくられ、佐伯頼憲前理事の乾杯で歓談に入った。

兵庫県仏人事

▼兵庫県仏教会では役員任期満了に伴う改選の結果、会長、事務局長がつきのように決定した。なお、事務局も移転しました。

会長・小西日静師、事務局長・豊島正典師、新事務局は神戸市兵庫区松本通三十一一四〇法華寺内

関東甲信越静ブロック会議

▼関東甲信越静ブロック会議は六月八日、千葉県の小湊で開かれる。

事務総局録事(五月)

九日 監査会

局内会議

昭和五十三年六月一日発行
六月号 第二三九号

発行人
編集人

来馬 正浩

発行所 財団法人

全日本仏教会

東京都台東区西浅草一ノ五ノ五(東京本願寺内)
電話〇三(八四三) 六三四一、三

十日 文化会議運営委員会(関東)
十六日 ネパール国王レセプション出席

十八日 局内会議

二十三日 文化会議運営委員会(関西)

二十六日 局内会議

二十九日 常務理事会・理事会

WFB事務局録事(五月)

一日 式典小委員会(開会式)

北海道仏へ

二日 WFBYと打ち合せ

六日 記念事業小委員会(出版)

八日 仏教英語研究会

九日 渉外委員会

式典小委員会(閉会式)

十日 比叡山へ

十一日 福岡県仏へ

十二日 正副委員長会議

十五日 関西事務局と業務打ち合せ

十八日 仏教英語研究会

局内会議

十九日 埼玉県仏へ

二十二日 総務委員会

愛知県仏へ

大阪府仏へ

二十五日 救援世話人会

二十八日 仏教英語研究会

二十九日 長岡市仏へ

新潟県仏へ

三十一日 仏教英語研究会

京都府仏へ

北海道仏へ

テーマ

21世紀における仏陀のメッセージ



第12回世界仏教徒会議(WFB)

日本大会を成功させよう

昭和53年10月1日↓6日 東京・京都